

山本 章造 (理事)

## NPO法人岡山淡水魚研究会



### 岡山は淡水魚の宝庫

3大一级河川が流れる岡山平野には70種以上の淡水魚が生息し、種類数は琵琶湖淀川水系に次ぎ、全国的にも類を見ない豊かさです。国の天然記念物であるアユモドキ、絶滅危惧1A類のスイゲンゼニタナゴをはじめ、カメンタと軽くあしらわれ、さほど気にもとめられない小魚達や全国的にも珍しい多くの淡水魚が生息しています。

岡山はまさに淡水魚の宝庫なのです。

### 研究会のなりたち

溪流釣り仲間の私たちは、ある時古老から、かつては日常的にみられたアモウ(アユモドキの方言)が最近全く見られなくなったという話を聞き、絶滅の危機に瀕していることを知りました。アユモドキは琵琶湖淀川水系と岡山近辺にのみ生息する極めて希少なドジョウの仲間です。

私たちは釣りやグルメを楽しんでいるだけでは、これらのか弱く愛しい小魚達に申し訳が立たないということで、1974年に岡山淡水魚研究会を立ち上げ、まず、アユモドキ復活作戦に取り組みました。

### 山本 章造氏

1945年生まれ。京都市出身。団体職員。NPO法人岡山淡水魚研究会理事。(財)おかやま環境ネットワーク理事。サイクリスト。

### アユモドキ復活作戦

その頃は、ほ場整備や用水路の三面コンクリート化などのいわゆる「河川改修」が盛んに行われていた頃です。

私たちは最初、身近な川でアユモドキの生息実態を調べました。幸いにも市街地の用水路や河川敷の小池に局限されてはいるものの、生息していることが明らかになりました。早速、生息地保護のために奔走し、大阪の保護団体とも連携して、1977年に国の天然記念物としての指定を受けました。淡水魚では3例目です。

### 休耕田を活用したアユモドキの繁殖保護

休耕田を改造してアユモドキの産卵場を造成した結果、毎年多数の稚魚が出現しています。この自然繁殖のための活動は現在も継続して実施しており、毎年地元公民館、子供会と共催でアユモドキ稚魚観察会を行っています。



私たちはアユモドキの保護活動を通じて、地元住民の方々との緊密な連携が環境保全活動に大切であることを実感しています。

### 主な行事と活動

2008年にNPO法人となり、現在会員数は80名余り。  
・毎月1回の例会と会報の発送をしています。



- ・例会は毎月第2日曜日に開催月例会のうち3回をアユモドキ繁殖池の管理(草刈り、水路の整備など)に当て、7月はアユモドキ稚魚観察会、1、12月は新年会、忘年会を兼ねた学習会、その他の月は主に河川の魚類調査を行っています。
- ・例会の他に、アユモドキの自然繁殖、調査活動を軸にして、スイゲンゼニタナゴなどタナゴ類やドジョウ類などの希少淡水魚の調査や保護、環境保全にも取り組んでいます。
- また、水辺の教室、学習会や公民館活動などへの協力参加、河川工事にとまなう魚の救出や淡水魚保全の相談および委託、補助調査など多彩な活動をしています。

### 事務局窓口

〒702-8021 岡山市福田 194 中田秋穂方  
Tel&Fax 086-262-2656  
携帯番号 09075435039  
e-mail:npotansuikennakada777@beige.plala.or.jp